

設営のバリエーション



ペボライト(別売)を観音開きの面から連結可能です。



カーサイドタープの様にも使用可能です。



張り上げればさらに広い空間を確保出来ます。

その他季節に合わせて様々な設営が可能です。

※テント以外は別売りです。

※車との連結パーツは付属していません。市販品をご使用ください。

※キャンピーポールは別売です。(推奨高さ1,800mm)

グランドシート(別売オプション)のセット方法

四隅をセットします。



上部はトグルに留め、下部はペグで留めてください。

全て留めれば完成です。



セット内容

- テント本体
- スチール製ペグ×19
- 張り綱×8
- 脚×4
- 屋根部ポール×1
- 連結ポール×4
- 本体収納ケース×1
- ポール収納ケース×1
- 取扱説明書(本書)×1

本書は製品を安全に使用するための禁止事項と設営方法を記載しております。使用前に必ずお読み下さい。また必ず製品と共に保管して下さい。

⚠ 警告

- ベンチレーターや出入り口が完全に閉まった状態で使用すると酸欠による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をするか、ベンチレーターを開けた状態で使用して下さい。
- テント内で火気は絶対に使用しないで下さい。
- テント内部の照明は電池式のランタンを使用してください。ガスやガソリンのランタンは火災の原因になります。
- 台風、暴風雨の際は絶対に使用しないで下さい。
- 使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止し速やかに撤収、安全な場所へ退避して下さい。

⚠ 注意

- 快適なキャンプの為に製品の破損や付属品の不足が無いことを確認してから使用して下さい。
- 必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用して下さい。特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意下さい。
- 設営及び撤収の際は手袋等を着用し、安全に作業して下さい。
- 説明書に従い全ての張り綱を確実に固定した状態でご使用下さい。
- 焚き火のそばなど火が当たる可能性のある場所、火の粉がかかる恐れのある場所で使用しないで下さい。
- テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- 製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断り致します。
- 常設用ではありません。直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は退色や生地劣化が進み短期間で製品寿命となることがあります。
- 砂地や河原など付属のペグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のペグをご用意下さい。

メンテナンス、保管上の注意

- 使用後は汚れを良く落とし、乾燥させてから収納、保管してください。
- 濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り、生地劣化を早めます。
- 製品の破損、故障についてはご購入いただいた販売店までご相談ください。
- 洗濯機で洗わないでください。

TC生地に関しまして

- TC生地は綿とポリエステル混紡で「織りムラ織りキズ」がどうしても出てしまいます。
- TC独特の風合いのため、多少の染色むら、織りキズ、織りむらは、ご容赦ください。
- 織りムラが原因で水が漏れる事はほとんどございません。ご承知の上お求めいただけますようお願いいたします。

発売元

株式会社カンセキ

〒321-0158 栃木県宇都宮市西川田本町3-1-1
http://www.tent-mark.com/

MADE IN CHINA



ペボ クイックキャビン

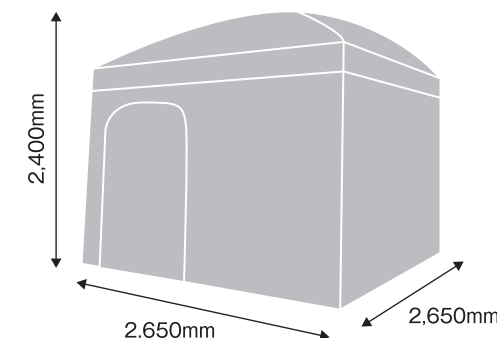
PEPO QUICK CABIN

TENT

TM-200161 取扱説明書



製品サイズ



SPEC

- 品番 / TM-200161
- 品名 / ペボ クイックキャビン
- 素材 / フライシート: ポリエステル/コットン混紡生地(TC) (撥水加工)
屋根・マッドスカート・縁部: ポリエステルオックス210D (撥水加工・テフロン+UV加工、PUコーティング)
ポリエステル65% コットン35% (撥水加工)
メッシュ部: ポリエステルメッシュ75D
ポール: スチール(黒) ジョイント部: ポリプロピレン(黒)
収納ケース: ポリエステル
- 耐水圧 / 屋根部: 1,500mm
- 組立サイズ / フライシート: (約) 2,650 × 2,650 × 2,400(高)mm
フレーム: (約) 2,600 × 2,600 × 2,400(高)mm (軒高1,800mm)
- 総重量 / (約) 本体生地10.76kg + フレーム10.1kg 計20.86kg (ペグ、収納ケース含む)
テント本体: 本体生地8.23kg、フレーム9.8kg
本体収納ケース: (約) 310g
ポール収納ケース: (約) 300g
- 同梱物 / スチール製ペグ×19、張り綱×8、収納ケース×2

1 設営前の確認

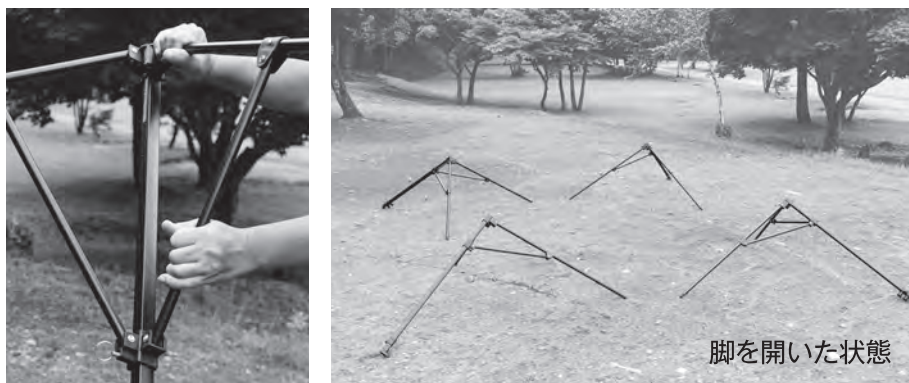
- ・セット内容の確認をして不足や破損、異常がないか確認します。
- ・必ず手袋をして組み立ててください。怪我をする恐れがございます。
- ・気象条件、地面の状況、設営の向きを考慮して設営場所を決定します。

2 ポールを組み立てます

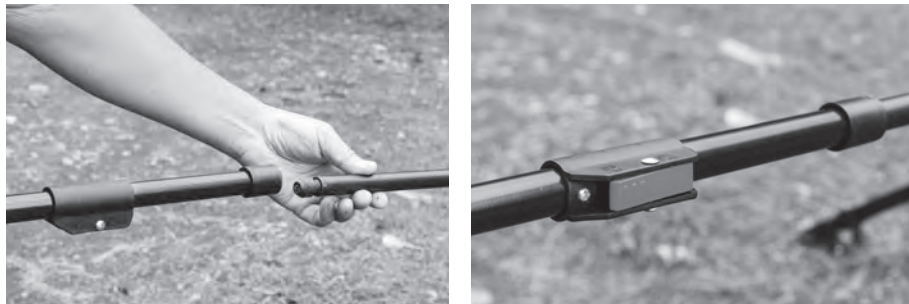
写真左から、本体、脚×4、屋根部ポール、連結ポール×4となります。



脚部分を広げ四隅に置きます。



連結ポールを使って脚部分を繋ぎます。
赤のロックが「カチッ」と音がするまで差し込んで確実にロックしてください。



屋根部ポールを繋ぎ、脚にセットします。



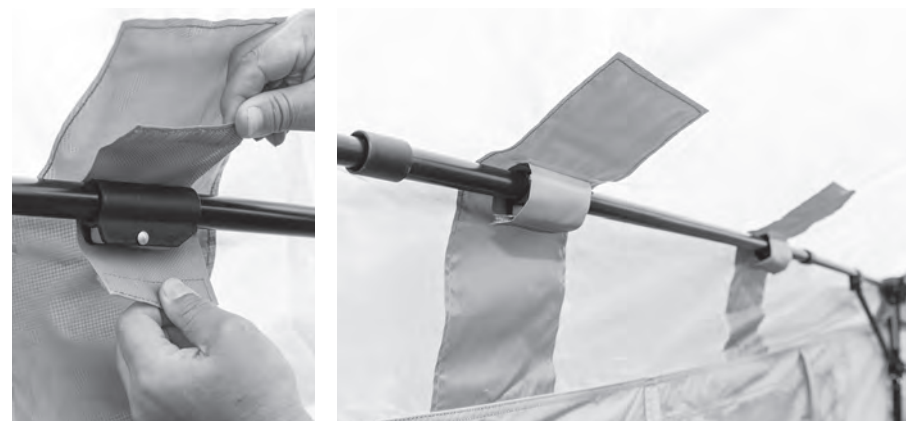
屋根部と脚をつなげた状態

3 本体生地を被せます

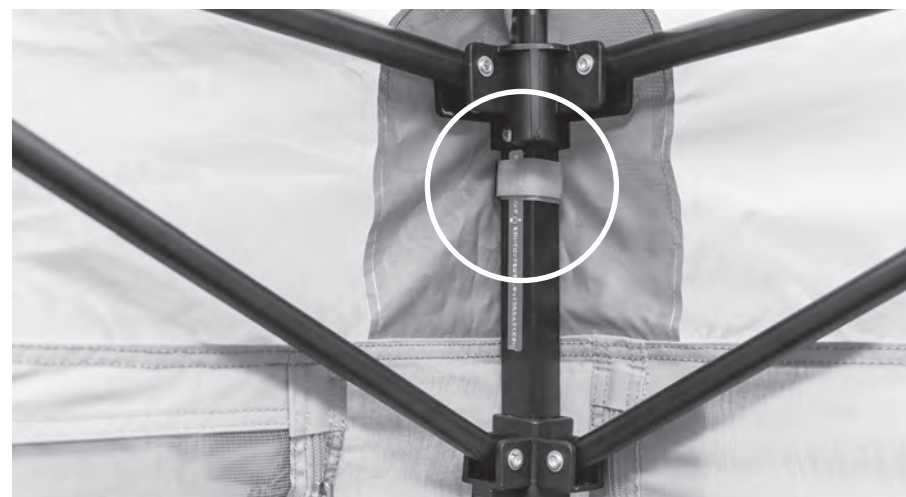
脚は伸ばさず、低い状態のまま被せてください。



テント中に入り、連結ポールにベルクロを写真の様にセットします。(計8か所)



角にあるベルクロを写真の様に巻き付けます。



ロックを引き脚を伸ばします。(最大の高さで固定してください)



脚部分にあるベルクロも全て巻き付けてください。

テント本体四隅にある金物フックを、脚の下部にある穴に引っ掛けてテンションをかけます。



この穴に引っ掛けます。

裾にあるゴムループをベグダウンしてください。
ゴムフックをベグダウンする場所は設営方法によって変わります。



4 張網を張って完成です

